

**製品名: アルドラーゼ C ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06770**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	39kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ALDOC
別名	ALDOC; ALDC; Fructose-bisphosphate aldolase C; Brain-type aldolase
遺伝子 ID	230.0
SwissProt ID	P09972
免疫原	抗血清はヒト ALDOC の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

**背景**

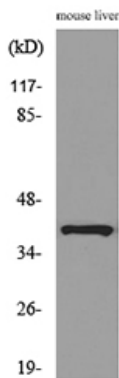
この遺伝子は、クラス I フルクトース二リン酸アルドラーゼ遺伝子ファミリーのメンバーをコードしています。脳の海馬細胞とプルキ

肝細胞に特異的に発現するこのタンパク質は、フルクトース-1,6-二リン酸とフルクトース-1-リン酸を可逆的にアルドール分解してジヒドロキシアセトンリン酸とグリセルアルデヒド-3-リン酸またはグリセルアルデヒドに変換する解糖酵素です。[RefSeq 提供、2008年7月]。触媒活性: D-フルクトース-1,6-二リン酸 = グリセロンリン酸 + D-グリセルアルデヒド-3-リン酸。、その他: 脊椎動物には、この普遍的な解糖酵素の3つの形態が認められており、筋肉にはアルドラーゼ A、肝臓にはアルドラーゼ B、脳にはアルドラーゼ C が存在します。、経路: 炭水化物の分解; 解糖; D-グルコースからの D-グリセルアルデヒド 3-リン酸とグリセロンリン酸: ステップ 4/4。、類似性: クラス I フルクトースビスリン酸アルドラーゼファミリーに属します。、サブユニット: ホモテトラマー。、

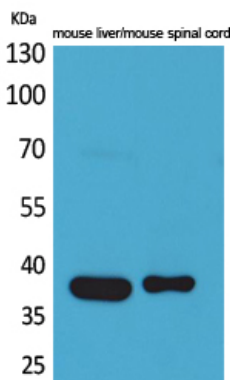
## 研究分野

解糖系/糖新生; ペントースリン酸経路; フルクトースおよびマンノース代謝;

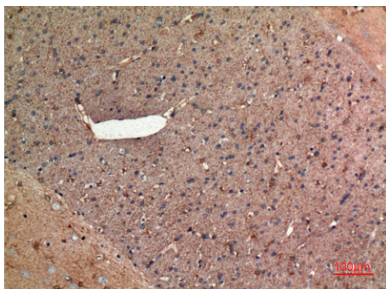
## 画像データ



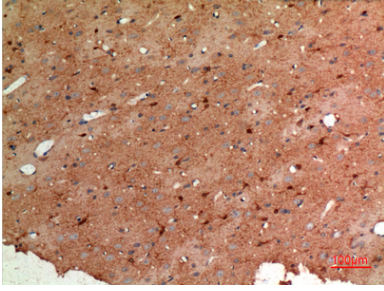
ALDOC 抗体を使用したマウス肝細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



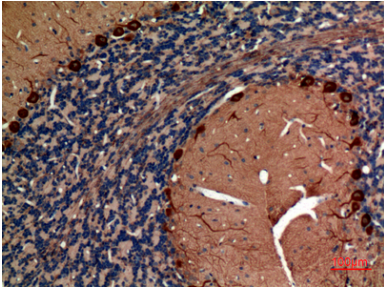
アルドラーゼ C ポリクローナル抗体を用いたマウス肝臓、マウス脊髄細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



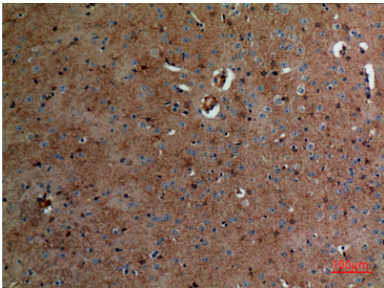
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された